

第7回「リモートセンシングシンポジウム」開催のお知らせ

主催 (社)計測自動制御学会 企画：リモートセンシング部会

協賛(依頼中) 応用物理学会, 海洋気象学会, 画像電子学会, 精機学会, 地震学会, テレビジョン学会, 電気学会, 電子通信学会, 土木学会, 日本海洋学会, 日本火山学会, 日本機械学会, 日本気象学会, 日本鉱業会, 日本航空宇宙学会, 日本写真学会, 日本写真測量学会, 日本自動制御協会, 日本測量協会, 日本造船振興財団, 日本地質学会, 日本林業技術協会, 日本陸水学会, 農業土木学会, 物質探査学会, リモートセンシング学会, リモートセンシング技術センター

最近では, リモートセンシングの研究調査はすでに日本の各専門機関で盛んに実施されており, 当学会では各方面の要望に応じて, 今年も第7回リモートセンシングシンポジウムを下記の要望で企画いたしました。

リモートセンシングは, 計測・制御, コンピュータサイエンス, 画像処理などに関するソフトウェアとハードウェアの開発が必要であり, 広範多岐にわたる応用分野の開発も不可欠であります。

そこで当学会では, 広く他の学協会に協賛を呼びかけております。学会員多数のご協力とご支援をお願いいたします。

記

期日 昭和56年11月17日(火), 18日(水)

会場 機械振興会館〔東京都港区芝公園 3-5-8〕

講演申込締切 昭和56年8月31日(月)

講演申込方法 A4版の透明用紙に1) 題目, 2) 登壇者・連名者の氏名, 勤務先および所属学協会名, 3) 連絡先, 4) 400字以内の概要, 5) 希望するセッション名(下記参照, 複数も可), 6) 原稿枚数(2ページか4ページ)の指定を記入のうえお申し込みください。申込者には指定原稿用紙をお送りします。
計測システム: センサ(可視光, 近赤外線, 中間赤外線, マイクロ波, レーザー) プラットフォーム記録方式(PCM, FM, 写真など) 計測機器とその校正など

データの収集および補正: 通信, 伝送, 前処理(ひずみ補正, 大気効果補正など) グランドルースなど
データ解析システムと手法: クラスタリング, テクニカルアナリシス, マッピング, 光学処理など

応用: 環境, 都市, 資源, 地質, 農林, 水産, 海洋, 河川, 火山, 地熱, 気象, 防災, 測量など

講演の予稿集 講演時間は1件あたり15分ないし20分とし, 予稿集はオフセット印刷で1論文1,480字詰原稿用紙2ページまたは4ページとなります。

講演原稿提出締切 昭和56年10月9日(金)

参加費(予稿集代金) 本会および協賛学協会会員 5,500円, 学生 3,500円, 一般 6,500円

講演申込先 (☎113) 東京都文京区本郷 1-35-28-303 (社)計測自動制御学会 リモートセンシングシンポジウム係 電話 (03) 814-4121